

学校だより 麦の穂



令和5年度 10月号 9/27 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 984人(±0人)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

2学期に入ってから、富士根南小学校では、新型肺炎ウイルス感染症及びインフルエンザともに大きな流行はなく、落ち着いた生活を送ることができています。しかしながら、日本各地では、新型肺炎ウイルス感染症が「第9波」を迎えたと言われ、またインフルエンザも季節外れの流行を見せるなど、「ダブル流行」の様相で、学級閉鎖が増加しており、医療機関は「例年にない状況」に危機感を募らせていると聞きます。

10月、6年生は修学旅行を控え、また多くの学年が校外学習を計画しています。さらに、10月半ばから新体力テスト、後半には運動会の練習も始まるなど、学校の活動はスポーツの秋本番となっていきます。学校は、基本的な生活習慣を意識しながらの生活を引き続き守っていきます。保護者の皆様には、引き続き健康観察アプリLEBERでの報告をお願いいたします。

秋は「学びの充実期」です。子供たちに豊かな学びの機会が保障できますように御理解と御協力をお願い申し上げます。



■図工の授業から～ステージテーマ：粘り強く～ 校長 風間 裕之



画用紙に描いた下絵に色付けをする図工の授業の一コマです。スポンジを手に取ったAさんは、赤と白を混ぜたピンクの絵の具を、ポンポンと下絵に付けていきます。次に手にしたのは、歯ブラシ。スポンジとは違う雰囲気を出そうと同じ絵の具をブラシの先に付け、スポンジで色付けした部分の下側の部分を叩きます。叩き始めてすぐに手が止まりました。ちょっとイメージが違ったようです。少し周りを見回してから持ち出したのは、金網です。筆でピンク色の水を金網に載せ、下絵の上に歯ブラシでこすりながら落とします。淡いピンクの霧のような模様が下絵に描かれていきます。ちょっと考えてから歯ブラシの先に白い絵の具をそのまま付けました。そして、同じように下絵の上でこすりときれいな白い霧が下絵の上にかかります。Aさんは、自分のイメージを表現するために、様々な技法を試し、調整しながら粘り強く、絵の制作に取り組んでいました。こんな積み重ねが、粘り強くやり続ける力につながっていきます。

さて、10月のステージテーマは、「粘り強く」。教科の学習はもちろんですが、修学旅行・運動会などの行事、学級・学校をよりよくする活動等を通して、自分が決めたことに、継続して取り組み続ける力を育むステージです。

粘り強さを育むためのポイントは3つあるそうです。一つ目は、はっきりした目標をもつこと。Aさんは、自分が描きたい絵のイメージをしっかりとっていたと思います。二つ目は、継続的に努力し続けられるよう、環境を整えること。担任は、いろいろな技法に使える用具をそろえ、環境を整えていました。三つ目は、成功体験を積み重ねること。制作途中でしたが、とてもすてきな作品に仕上がることを思います。

御家庭や地域でも自己選択・自己決定したことに粘り強く取り組む子供の姿が見られましたら、ぜひ、認め励ましていただけたらと思います。

